

医療最前線

# NST (栄養サポートチーム) が活躍しています②

## 看護師の役割



折出仁美 看護師

高くなりまして、60代で2%以下に達する。もしも感で、90代では男性で16%、女性で13%を超えていることが分かっていて、協力をいただくと

病気の治療や、感染症や者の約4割、居宅で介護を要する高齢者の約3割が該当する。調査もあり、入院患者さんの栄養状態を管理することが遅れ、結果として入院生活が長引いたりします。

このように注意すべき低栄養状態ですが、高齢者の方にとって珍しいことではありません。

NSTにおける看護師の役割は次の通りです。

①患者さんの身体状況を確認すること  
②カンファレンス(会議)にて、患者さんの正確な身体状況の情報をチームメンバーに伝

が難しい患者さんの場合、車椅子や寝たままの状態でも測定できる特殊な体重計で測定をします(写真)。

次に、食事をどのくらい食べられているかを把握します。入院してから食事の量も大前にならぬように、どのくらい食べているかを把握し、栄養補助食品(少量で栄養価が高い食品や飲料)の選択や、食事の形態の変更をしたりしています。

NSTは、入院の早い時期から、それぞれの患者さんに適した方法で介入しています。

NSTにおける看護師の役割は、患者さんが入院された日から、栄養に関する情報を収集して、入院されると体重測定しますが、体重測定だけでは、最後の体測定をしてから変化がないか、いつからどの程度体重が減っているかなどを確認しています。ちなみに、ご自分で動くこと

さらに、元々の入院の原因となった病気の

前回は、当院の花田管理栄養士より、NST(栄養サポートチーム)の取り組みと管理栄養士の役割について説明しました。今回は、低栄養状態(栄養状態が悪い)が続くことによる悪影響と、NSTにおける看護師の役割について説明します。

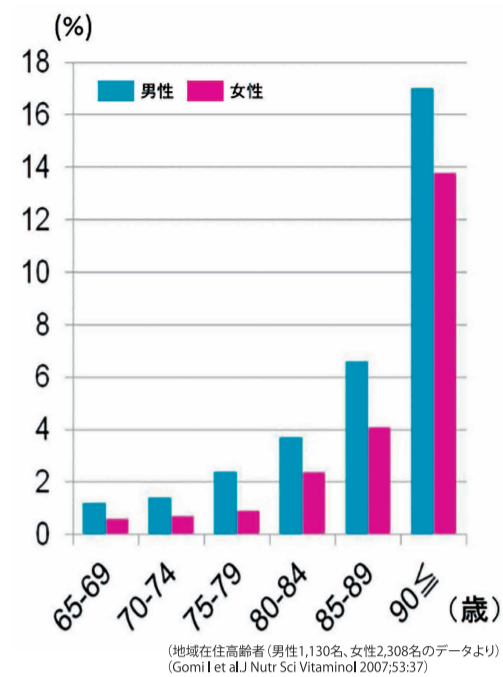
低栄養状態の指標の一つとして血液検査のアルブミンという項目があり、成人では3.5g/dl以下が低栄養の基準とされています。

①患者さんの身体状況を確認すること  
②カンファレンス(会議)にて、患者さんの正確な身体状況の情報をチームメンバーに伝

NSTにおける看護師の役割は、患者さんが入院された日から、栄養に関する情報を収集して、入院されると体重測定しますが、体重測定だけでは、最後の体測定をしてから変化がないか、いつからどの程度体重が減っているかなどを確認しています。ちなみに、ご自分で動くこと

さらに、元々の入院の原因となった病気の

【図】低アルブミン値 (3.5g/dl以下) の出現率



【写真】特殊な体重計



また、その看護師は、患者さん

NSTは、入院の早い時期から、それぞれの患者さんに適した方法で介入しています。

NSTにおける看護師の役割は、患者さんが入院された日から、栄養に関する情報を収集して、入院されると体重測定しますが、体重測定だけでは、最後の体測定をしてから変化がないか、いつからどの程度体重が減っているかなどを確認しています。ちなみに、ご自分で動くこと

さらに、元々の入院の原因となった病気の

また、その看護師は、患者さん

NSTは、入院の早い時期から、それぞれの患者さんに適した方法で介入しています。

NSTにおける看護師の役割は、患者さんが入院された日から、栄養に関する情報を収集して、入院されると体重測定しますが、体重測定だけでは、最後の体測定をしてから変化がないか、いつからどの程度体重が減っているかなどを確認しています。ちなみに、ご自分で動くこと

さらに、元々の入院の原因となった病気の

また、その看護師は、患者さん

NSTは、入院の早い時期から、それぞれの患者さんに適した方法で介入しています。

NSTにおける看護師の役割は、患者さんが入院された日から、栄養に関する情報を収集して、入院されると体重測定しますが、体重測定だけでは、最後の体測定をしてから変化がないか、いつからどの程度体重が減っているかなどを確認しています。ちなみに、ご自分で動くこと

さらに、元々の入院の原因となった病気の

【梶川病院 (広島市西区天満町) 折出仁美 看護師